知立市立知立南中学校の開校

開校準備

昭和５６年　８月２６日　市議会において，新設中学校建設契約議決

８月２８日　起工式

１０月　５日　学区審議会発足　開校準備委員会発足

１１月１４日　学区審議会答申

１２月１０日　学区決定＜知立中学校区域のうち猿渡川以南＞

開校

昭和５７年　３月２６日　知立南中学校赴任内定者により→
開校準備開始

開校年度の本校全景

４月　１日　開校

４月　２日　開校式　→

初心をだいじに

知立南中学校長　太田正敏

知立市ご当局をはじめ、大勢の方々の並々ならぬご尽力で、施設設備とも実に立派な学校を建てていただきました。プールも七月上旬をめざして、急ピッチに進められております。誠に感謝のほかありません。

また、南中学校ＰＴＡは準備委員会のお骨折りで、役員・委員さん方もそろわれ、設立総会も盛大に開催されましたことは同慶にたえません。

本校は、四月発足にあたり、教育目標は、

ア　たくましい体を鍛える生徒

イ　本気で勉強できる生徒

ウ　ゆたかな心をもつ生徒

ときめ、実践しております。

イでは、学年を問わず「今」が大事なことを自覚させ、真剣に学習する態度を育てます。又、ウでは、礼儀正しく規則を守り、思いやりの心をもつ生活態度を育てていきます。とくに、心のふれあいを大事にし、生徒個々の長所を伸ばすよう力を入れていきます。

更に花壇づくりや緑化の推進をはかり、くつろげる学校環境づくりに努めます。

体力づくりには特に力を入れていますが、生徒も毎朝七時から、校庭や体育館に部活で汗を流しております。私共は立派な学校の中で、立派な人間を育てなければなりません。

学校は本当に学ぶところであり、学ぶ姿勢を躾るところであり、鍛えるところです。

知立の花のカキツバタのように品位があり、知立の木、ケヤキのように強くたくましい人間を育てたいと思います。そして将来、地域のため、社会のために役立つ人間の基礎づくりをしなければならないと考えます。

私ども新設校に赴任いたしました職員一同、責任の重さを思い、初心を忘れることなく、一座建立の心をもって協力しあい、力いっぱいがんばる所存でおります。心の通じ合いこそ非行を防ぐ一番の力になると思います。

皆様方のご指導・ご支援をお願い申しあげ、ご挨拶といたします。

りっぱな伝統を築こう

知立市長　藤井章

本校は、マンモス化した知立中学校の適正化を図るため、市民各位が待ち望んだ学校であり、関係各位の一方ならぬ御協力により開校したのであります。そして今、生徒の皆さんが、のびのびと勉強にスポーツに励む姿を見ると感慨もひとしおであります。

中学校教育は、社会の形成者として必要な基礎知識や能力を育て公正な判断力を養うことを目的としているのでありますが、こうした教育を通して豊かな人間性を育成することを忘れてはなりません。

ＰＴＡの皆様には、次代をになう生徒が、豊かな情操を持ち、社会生活にふさわしい倫理観と社会連帯感を備えたりっぱな人間として育つよう、深い愛情と信頼と、これらに裏付けられた厳しさを持って指導していただきたいと思います。そして、開校して日が浅く全てが新しい本校に、生徒と保護者と先生が一体となって清く正しい校風を築き、将来にむかってりっぱな伝統を有する学校に育てていただくようお願いいたします。

当市といたしましては、教育の重要性にかんがみ、プールの建設をはじめ、施設の整備充実に努め恵まれた教育環境のもとで、ゆとりある教育を推進する所存であります。

今回発刊されますこの「南風」が、学校と家庭を結ぶ掛け橋として、ＰＴＡ活動に大きく貢献し続けるよう祈念するとともに、知立南中学校の成長を願い挨拶といたします。

ＰＴＡ新聞「南風」創刊号より